

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 フランス語圏文化学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 リヨン政治学院
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年9月1日 ～ 2019年5月3日 出国日 2018年 8月 26日 最終帰国日 2019年 7月 13日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

私は留学に行く時の飛行機の中で、これから一年間どういう生活が待っていて、どうなって日本に帰ってくるのか不安で、飛行機の中の映画をろくに鑑賞できなことを覚えています。現地に着き、いざ授業が始まると英語が話せる事は当たり前で、フランス語が通じなかった時の手段で、英語もフランス語もできず、パソコンの操作方法もできない、ましてや人見知りや人の輪にどのように入っていけば良いのかわからなかった私は、出来ない尽くしで逆に何も辛くなかったです。

私にとってこの留学の約一年間は、人生で最も人間として有意義な生活をして、周りには尊敬する人しかいないという非常に恵まれた環境で生活することができ、何より今まで自分の知らなかった世界を知り、体験した時間でした。そしてフランス人、ヨーロッパ人の根本には何事も根拠が存在し、根拠がないと物事の行動をしないことを身にしみ感じ、根拠よりも伝統や習慣を重んじる日本との違いに驚きました。また彼らの人生を楽しむという精神には感動しました。フランスは書類を提出するときも、公共交通機関に乗るときも、何もかもスムーズにはいきません。日本人はこのことについて、よく不便だと言いますが、彼らの柔軟な対応力と何か起きた時の助け合いの精神は本当に尊敬します。

一学期は語学の授業に付いていくことが精一杯で、多くの行政手続きをこなして終わった感じでした。二学期は学校の授業の勉強の内容が少し理解できるようになり、語学のクラスの

レベルも一つ上がり、加えて私はバレーボール部に所属していたため、3月の大きな大会に向けて毎日のように練習に励む日々でした。

留学中一番辛かった時期は二学期でした。毎日課題と復習とバレーに明け暮れる日々、語学のクラスも非常にレベルが高く、何も意見が発せなかった私は、クラスメイトに省かれることも多々ありました。しかし今思うとそのような環境のおかげで、省かれてる場合ではない、もっともっと努力をしなくてはならないと思えたし、自分は何を学ばなければならないのか明確にわかるようになったのだと思います。

語学面に関しては、留学に行けばフランス語が伸びると考えていましたが、私の留学先の留学生はフランス語の語学力がある程度完成してから来ているので、留学しなくても語学は身につくんだと思いました。留学当初、他者とのコミュニケーションを取る手段が全くなかった私は、グーグルトランスレーターを使って友人たちと会話をしていました。3月の中旬から相手の言っていることが理解できるようになり、5月中旬くらいからフランス人の友人たちと二人でご飯に行けるくらいの語学レベルになりました。しかし大人数の中での会話だと話している内容は理解できませんが会話に参加することはまだ難しいです。けれど、大人数の会話の中で面白い話を聞き取ることができ、面白いと感じて笑うことができるようになったので今はそれが楽しくてたまりません。

ラスト3ヶ月でなぜいきなり、フランス語力が向上したのか考えてみると、勉強をしよう！と思って勉強をしなくなったからだと思います。私は暇さえあるとSNSのインスタグラムを見る癖があったので、インスタグラムのフランス語専用のアカウントを作り、そこに掲載されている動画を見るようにしました。また、映画館に行ったり、街を散歩したり、友人と多く会うようにしたり、勉強する時はなるべくカフェに行き、家に帰ると必ずフランス語の好きな音楽やインターネットで見ることができるフランスのニュースチャンネルを付けるようにしました。この結果、今までは今日はこの単語を覚えて、このテキストをやらないといけないという義務感があり、いつも勉強する時にストレスになっていたのですが、興味のあるジャンルの動画を見て聞いて、好きなところに行って、綺麗な写真を見ながらフランス語に触れたことで、語彙力やリスニング力が急速にアップしました。楽しんでフランス語に触れることが非常に効果的だと感じました。

生活面に関しては留学前よりもどんな状況でもめげずに行動できるようになったと思います。元々私の性格的に何事も悲観的に考えるたちのですが、今では悲観的に考えつつも、この状況をどうにかして打破しようとするいろいろな解決策を考えられるようになりました。

また、わからないことを他者にわからないと正直に言えるようになったことも成長の一つかなと感じます。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

私が留学前に準備をしておけばよかったと思うのは二つあります。

一つ目はフランス語のスペルをカタカナ読みではなく、フランス語の読み方で読めて聞けるようにしておくことです。もちろんフランス語を強化しておくことが理想ですが、何よりもまず発音を完璧にすることが一番大切だと思います。私は留学前、リスニングが苦手な本

などで読めば理解することができるのに、口頭で言われるとわからない状況が多々ありました。日本語で言うひらがな、カタカナのようなものなので、発音が出来れば知らない単語もスペルがわかるので調べられるし、コミュニケーションも取りやすいと思います。そのため、『フランス語 発音』、『phonétique』と YOUTUBE など検索するとそれに該当する動画が出てくるのでそれを視聴することをお勧めします。

二つ目はギリシャ神話をよく知っておくことです。西洋の考え方は聖書、とりわけギリシャ神話の物語が参考になっていることが多いです。そのためギリシャ神話を事前に知っておくとあらゆるシチュレーション（授業、会話の中、旅行先、本など）で出てくるので役立つと思います。

私は日本では仏文所属なので留学前、政治学について勉強すべきだと考えていました。

しかし実際、リヨン政治学院では基本的に1、2年生の基礎の授業を履修するため出国前に政治学を勉強するよりも、テストの形式がほぼエッセイなので、多くの知識を本などで得ておくのと留学先の授業やテストで応用が効き、便利だと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学先大学の授業は非常に質が高いです。全てフランス語で授業を受け、ノートの取り方は基本パソコンです。授業で使用したパワーポイントの共有がある場合や教授が提供してくれるレジュメや参考文献の共有もすべてパソコン上で共有します。

また何人かのグループに分れてプレゼンテーションした場合もその内容はテスト範囲に含まれることがほとんどです。

授業の印象としては1コマ2時間の授業で習う内容の濃さに驚きますし、同じ内容の日本語の参考資料や参考文献をリサーチしてもリヨン政治学院で習う授業内容が濃すぎて掲載されていないことも多くあります。半期の一つの授業に対しA4のWORD記載で100～120ページでした。また西洋は何人かの人の考え方を多角的に学ぶ機会が多く驚きました。それは比較的1種類の考え方がメインの考え方となっている島国、日本で暮らしてきたからこのように感じるのかもしれませんが、私的には面白いと思う反面、常に正解が複数ある世界であったため、テストの時エッセイを書かなければならなかったのですが、構成を組み立てることに苦労しました。

留学前リヨン政治学院は政治学を専門に学ぶ学校であると考えていたのですが、実際は政治学に特化した学校であるため、政治学だけでなく経済学や歴史、地政治学、生政治学、哲学、社会学など幅広く学ぶことができ、また各地域（アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アラブ）にわかれているので自分の興味のある授業を履修することができたのでよかったです。また、私は日本ではフランス語の文学をひたすら訳し、フランス文学を読むことが多かったのですが、その文学がどういう歴史や各地域のどういう考え方があるかその文学が生まれたのか、その文学の背景を知ることができたので非常にためになりました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは決して広くはなかったですが、こじんまりとしていて私には居心地がよかったです。校内には大きな広場があり、そこに友人たちと集まってサンドイッチなどを食べていました。図書館はあまり大きくないですが、空きコマは学校内のほぼ大体の生徒が図書館で過ごすので常に混んでいます。また、学食は学校内ではなく歩いて1分ほどのところにあります。リヨン第2大学、リヨン第3大学、リヨン第2大学の中に併設されている語学学校の人など、多くの人が利用しています。そこで違う学校で学ぶ子たちとも出会うことができます。体育や部活はトラム T2 ラインに乗って30分ほどのところにあるリヨン第2大学のbronキャンパスで行われます。結構混んでいる電車なので、椅子に座れないのが辛いです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

シアンスポーの留学プログラムコースを履修する場合、語学の授業は週1で2時間受講することが可能です。授業の内容は非常にレベルが高く、留学生に人気です。しかし、残念なことに留学プログラムコースは一週間に約10コマを（基本的な内容の授業3時間✕3コマ、または2時間✕4コマ、地域別のコースを2時間✕4コマ、討論の授業を2時間✕1コマ、語学を2時間✕1コマ）履修しなければならず、留学時の私の語学力では全ての授業を吸収できないと考え、自由に授業を履修できるコースを選択しました。けれどその場合、語学の授業を履修できなかったため、リヨン第2大学の中にある語学学校（CIEF）に直談判をしに行き、週2回、計4時間の語学コースを無料で履修しました。ただ、私は奇跡的にこの授業が履修することができました。一般的には7月ごろに申込みは終了してしまうので、このコースを受講したい場合、留学前にCIEFに申込みの申し出の連絡をすることをお勧めします。ものは言いようなので、自分にはこのコースが如何に必要不可欠なのかをアピールした方がいいと思います。私は留学当初、フランス語も英語も話せなかったため、紙に言いたいことを書いてこの語学学校の先生の前で音読しました。4箇所、たらい回されて、各場所でその紙を音読しました。CIEFでは1学期A2、2学期B1の授業を受講しました。1学期はクラスメイト皆が仲良く、家族のような雰囲気でした。2学期は先生から指定されたフランス語の本を一冊読んでそれについて発表し小論文を書くことが必須でした。また毎回の授業で何かのテーマについて何人かで討論する時間が設けられていました。クラスのメンバーの語学力も高く、授業のレベルも高かったため、私は正直なかなかついていけず、クラスメイトから避けられたりすることも多かったです。けれどその経験のおかげで少しはフランス語能力が伸びたと感じます。

また、CPUという年間80ユーロでフランス語の授業が取り放題の語学学校がありお勧めです。先生との相性はありますが、基本的には定年退職をした元学校の先生などが多いのでフランス語の教え方が非常にうまいです。私は先生方には本当に恵まれ、留学当初から私が理解するまで20分間も一つのことを説明していただいたりと、本

当にお世話になりました。この先もずっと連絡を取ってほしい先生がたに出会うことができました。

私は協定プログラムコースを終えてから、1か月間だけアリアンスフランセーズリヨンで会話と書き専門のコースを受講していました。アリアンスフランセーズはまずクラス分けテストでヨーロッパ語学レベル（A1,A2,B1,B2,C1,C2）にレベル分けされ、各ヨーロッパ語学レベルをレベル1～3に分け、クラス編成をします。そのため、自分の語学レベルに着実にあったクラスで授業を受講できたので非常にためになりました。ただ授業料が非常に高いので、私は一般的な授業ではなく、自分の苦手な会話と仏作文に特化したクラスを受講していました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

リヨン政治学院にはバディ制度が存在し、一人一人にフランス人がつきます。またアジアコーナーというサークルでアジアの地域について学んでいるフランス人たちと交流でき、フランスと日本の文化交流やフランス語と日本語を教え合ったりしています。週一で集まったり、皆でご飯を食べたりと多くの交流イベントが存在します。

また、リヨン政治学院では3年次に世界のどこかに1年間留学することが必須なので、その分、交換留学生やエラスムスの学生が留学に来ます。そのため、正規生と留学生の境目があまりないことが特徴だと思います。また留学生が多く、留学生のウェルカムパーティーや近場旅行、チーズフォンデュパーティーなど多くの交流の場が設けられています。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

学校の周辺は非常に治安が良いです。もちろん日本に比べれば治安は悪く、細い道には電灯がないところが多く、スリが多く、ゴミ置場に捨てたゴミ袋は全て開けられ中身がなくなっていることは多々あります。けれど、リyonは比較的治安が良く、治安が悪いと言われているギロチエ周辺も、夜にその周辺を通らなければ基本的に安全です。ただ、ギロチエは比較的にリyon政治学院に近いので、学校の授業が遅い時間に終わった場合はギロチエを避け、川沿いを通ることをお勧めします。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

正規生は10人に1人しか入学できない学校の一つ、グランデコールに属するため、フランス社会の中での社会的地位が非常に高い学校です。そのため、フランス語をうまく話せない私は、よくフランス人から本当にリyon政治学院の留学生なのかと尋ねられました。留学生の質も非常に高く、日本からの留学生を除き、皆英語はもちろんのこと、フランス語がある程度完成した状態で留学に来ています。語学面だけでなく、知識力、情報収集力、リサーチ力、判断力、思考力などに誰もが秀でていて、一つプレゼンテーションを作ると、どうやってこんなプレゼンができるのか不思議に思うくらい、レベルの高いものを作ります。リyon政治学院では質の高い授業内容を学べることはもちろんのこと、どうやって一

つの事柄についてリサーチし、分析し、議論し、結論を出し、それを他者に伝えるかを学ぶことができ、周りには参考にできる友人がたくさんいるという素晴らしい環境が存在します。

また、リヨン政治学院と提携している EU などのインターンシップがいくつか存在し、語学が基準のレベルに達していれば、留学生も参加することが可能です。

正規生はずっと真面目に勉強ばかりする人は多くありません。午前10時から夜まで毎日のように授業があり、空きコマに課題をこなし、夜はホームパーティーに行き、夜中にクラブに行くという生活を送る人が多いです。遊ぶ時は遊ぶ、勉強する時は勉強すると切り替えがしっかりしている生徒が多く在籍するんだなと感じました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

履修していた授業	単位認定した授業
SLM CIEF A2	
SLM CIEF B1	
Politique et institutions en Asie	
Géopolitique contemporaine	
Résolution des conflits intra-étatique en Afrique subsaharienne	
CDM histoire	
Histoire depuis 1940	
Géopolitique et géostratégie de l'Afrique	
Invention de l'extrême orient géohistoire d'un espace	
Sociologie politique	
Volleyball	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 235ユーロ (CAF なし404ユーロ)、(日本円) 28400 円 (CAF なし約 49000 円)

トイレ、シャワー、キッチン付き、一人部屋

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩/計 1 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

学校から非常に近く、食堂も寮の下にあり、寮の部屋もキッチン、シャワー、トイレ付きで何不自由なく生活できたのでよかったです。また、寮の周りは夜遅くまで明るく、交通のアクセスも徒歩12分くらいの場所に大きな駅があり、旅行から遅く帰宅した時も便利です。歩いて7分以内のところに駅が3つもあったのでそのうち一つの電車が止まっても他の公共交通機関が使えることは利点でした。

悪かった点としてはとくにないですが、強いて言うならば、私は一人部屋だったので、シェアハウスなどをすればもっと多くの人と交流を持てたのかなと思います。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 協定留学先0ユーロ、CPU 年間80ユーロ、(日本円) 約 9652 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (日本円) 約15万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 650ユーロ、(日本円) 約78000円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

クレジットカード、デビットカード

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

私は普段デビットカードを使い、旅行や大きなお金を使うときだけクレジットカードを使っていました。デビットカードの利点としてはクレジットカードとして使えるだけでなく、フランスで日本の自分の銀行口座からお金を簡単に引き出せたので、非常に便利でした。

またフランスの住宅補助や社会保険など多くの手続きをする際、フランスで発行された銀行のIBANコードが必要のため、フランスのクレジットカードを作りました。フランスでは格安の公共交通機関のチケットを購入する場合や、学校のイベントの支払いなどはフランスで発行されたカードでしか支払いができないので、そういった場合に限り、デビットカードから必要なお金を引き出しフランス発行のクレジットカードに入金していました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

10月と3月に15万円ずつ、合わせて30万円をいただきました。

支出内容としては旅行費、学校のイベント参加費に使いました。

また留学先のテストが終了した後、1か月間語学学校に通っていたため語学学校参加費としても使用しました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

(2) 保険料

243460 円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物

(2) 持って行って良かったと思う物

変換プラグ、カレーのルー、インスタントの味噌汁、ファブリーズ、汗拭きシート、薬、巻き寿司をつくるためのケース（100円ショップの）、化粧水、洗顔フォーム、キットカット
抹茶、麦茶

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

たわし

(4) 持って行けば良かったと思う物

スキーウェア、目薬（花粉と埃がひどくアレルギー症状が長い間続いたため）

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

10時から授業→家に帰って昼ご飯、又はパンを買って友人と昼ご飯、学食（美味しい！）
→空きコマは図書館または家に帰り、次の授業の復習かプレゼンの作成や宿題→18時、20時まで授業→夜ご飯→夜のホームパーティーや学校のイベント。月曜、金曜は約4時間バレーボール

毎日が本当にめまぐるしくて、暇な時間がないというそんな有意義な時間を過ごせました。

(2) 週末

土曜日は午前中に市場に行き、午後は勉強

日曜は勉強か友人に会ったりしていました。

8. 後輩へのアドバイス等

留学中はできないことばかりで病んでしまうことが沢山あると思います。けれど、目の前にある自分がやらないといけないことを全力で取り組んでいれば必ずその努力は報われると思います。私は留学中この言葉を留学経験者の先輩から言われ、すごく心が楽になりましたし、留学を終えてその通りだと思っています。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。